

# チャレンジ農業支援センター 支援事例集



**チャレンジ農業支援センター**  
〒190-0013 東京都立川市富士見町 3-8-1  
TEL.042-524-3191 FAX.042-522-5398

公 **東京都農林水産振興財団**  
財團法人  
Tokyo Development Foundation for Agriculture, Forestry and Fisheries

石油系溶剤を含まないインキを使用しています



デザイン  
Support Case Examples  
2013

八王子市農協パッションフルーツ生産組合

## 八王子市の特産品へのブランド化



### 相談内容

八王子で若手農業後継者たちにより、八王子の特産品をめざして平成19年ごろからパッションフルーツの栽培が始められ、試食即売会や加工品の開発、メディア等への売込みなども積極的に取り組んできました。さらなる認知度の向上にむけ、当センターに相談いただきました。



八王子南国気分イメージキャラクター  
ふるーみん



### 支援内容

若い年代層にも受け入れられるためのキャラクター作成の提案をしました。グラフィックデザインの専門家を派遣し、キャラクター数種類とネーミング案を提示し、イメージキャラクター「ふるーみん」を設定しました。また、「ふるーみん」を全面に押し出し、南国イメージをコンセプトに、可愛らしい華やかなパッケージデザインの箱ができあがりました。

お子様や女性に好評で、即売会での売り上げの促進や八王子でパッションフルーツを作っていることを知ってもらうPRとして高い効果を上げました。





小坂農園 共同直売所本村ななど  
**地元の人で賑わう  
活気ある直売所へ**



## 相談内容

JR国分寺駅近郊の閑静な住宅地に隣接した農園で減農薬・有機肥料栽培をしている小坂農園は東京都の「エコファーマー」に認定されています。自宅の敷地に近隣の農家と共同で直売所を経営しています。その共同直売所の認知度の向上やPRの方法について相談いただきました。



## 支援内容

全体的な建物の雰囲気はあるものの、直売所であることがわかりにくく、一目でわかるような改善が必要でした。そこで遠目からもわかりやすく、かつ日よけ代わりにもなる大きなれん作成を提案しました。店舗の内部については商品陳列や価格の表示方法、色の統一などお客様の導線や目線の高さに配慮した陳列方法を提案しました。さらに農園や直売所全体のPRのためのパンフレット作成も提案し、親しみやすい紙媒体による高い年齢層へのアピールも行いました。





ぼんぼり柚子生産組合  
**ぼんぼり柚子のPRと  
販路拡大を支援**



## 相談内容

秋川渓谷沿いの素晴らしい自然環境のなか、4軒の柚子生産農家により無農薬栽培がおこなわれています。収穫した柚子をそのまま販売するだけでなく、ジャムやシロップなどにも加工して提供しています。このぼんぼり柚子のPRと販路拡大について相談をいただきました。



## 支援内容

マーケティング及びプロモーション支援に関する提案をいたしました。柚子の果実そのものをブランディングし、高付加価値商品として販売する手法を検討するとともに、首都圏の高級業務用食材の販売チャネルへのPRとして東京都内の高級レストランへのマッチングを実施したところ、数件即日注文がありました。また、新たな加工品の商品開発への提案等を行いました。



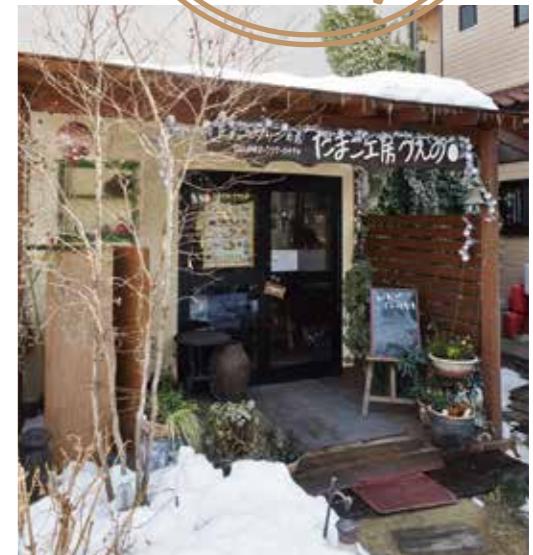
たまご工房うえの

## 地元産原材料にこだわった オリジナルクッキーの開発



### 相談内容

養鶏農家のたまご工房うえのはこだわりの餌と少頭飼育により、平成23年度東京都農業祭農産物品評会の鶏卵の部で都知事賞を受賞しています。そのたまごと自家栽培している菓子専用小麦「ゆきはるか」を使ったオリジナルクッキーの開発についての相談をいただきました。



### 支援内容

これまで販売していたロールケーキやプリンなども好評でしたが、賞味期限が短かかったため、日持ちする自家栽培の菓子用小麦とたまご、地元産狭山茶を使用したクッキーの開発の支援をいたしました。製菓専門学校の専門家にレシピのアドバイスをいただき、かぼちゃ、東京紅茶、東京狭山茶を練り込んだ和のスイーツが完成しました。商品のネーミングやパッケージのデザインについても提案いたしました。



数馬養鶏農場

## 餌にもこだわった 自社のたまごの差別化



### 支援内容

これまで使用していた箱よりも独自性のある新たなデザインを提案しました。

直売所の来客者のほとんどである女性客をターゲットに、可愛らしいデザインや、餌にもこだわっているところをアピールしました。

贈答用にも使えるようなパッケージができあがりました。



### 相談内容

自然の恵みをそのままに、餌にもこだわった自慢のたまごをPRしたい。農場内で直売する際にオリジナリティのある出荷箱を作りたいという相談をいただきました。



東京しゃも生産組合

## 「東京しゃも」

江戸時代からの伝統の味を東京名物へ

### 相談内容

古くは江戸時代より親しまれていた軍鶏の風味を蘇らせた「東京しゃも」は東京都地域特産品認証食品として認証されています。東京しゃもの美味しさをより多くの人に知ってもらうための加工品開発についての相談を東京しゃも生産組合からいただきました。



### 支援内容

料理専門家を派遣し、東京しゃもの味わいを最大限活かした蒸し、煮込み料理などの商品開発を提案しました。調理法としては、衛生面を考えるとともにしゃもの旨みを逃がさない調理が可能な真空調理法を提案しました。今後は料理店や流通チャネルの構築などに取り組む予定です。



中里農園

## 「地産地消」、新鮮な旬野菜で街を元気に



### 支援内容

農園の経営方針のビジョン策定や販売ターゲットの絞込みと、それに対しての集客ツールの活用ポイントの研修を実施しました。

対面販売方式と自動販売機方式の提案や、HP、SNS活用による情報発信方法といった提案をしました。

### 相談内容

地元の信用金庫勤めから専業農家へと就農した中里さんは個人直売所の効率的な活用を探っていました。当センターへの相談内容は、直売所運営の活性化についてです。

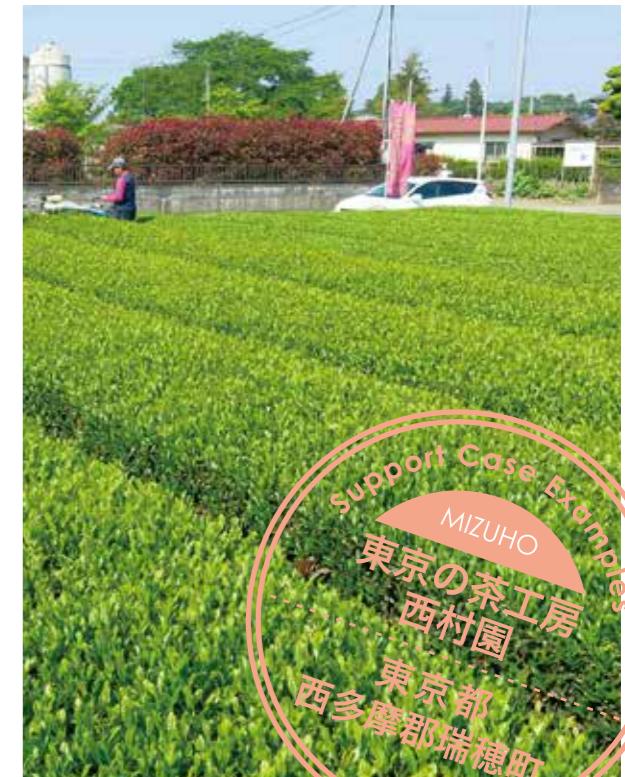


東京の茶工房 西村園

## 日本文化の茶、「東京狭山茶」を世界へ

### 相談内容

西村園は東京狭山茶の栽培から製茶加工、小売販売までを一貫しておこなっている茶工房です。昔ながらの製法に加え、減農薬・減化学肥料栽培でこだわりのお茶作りをしています。当センターへの相談内容は、2020年の東京オリンピックを控え、日本文化のお茶を世界にアピールしたい。海外からの観光客へアピールできる東京狭山茶の茶袋のパッケージデザインを考案してほしいというものです。



### 支援内容

贈答品としての需要の高まりを見越して、英語の表記も取り入れたパッケージデザインを提案しました。

従来の缶のパッケージから紙の茶袋にすることにより、より日本らしさをPRすることにしました。

シールによる等級の差別化や、色のバリエーションも提案しました。





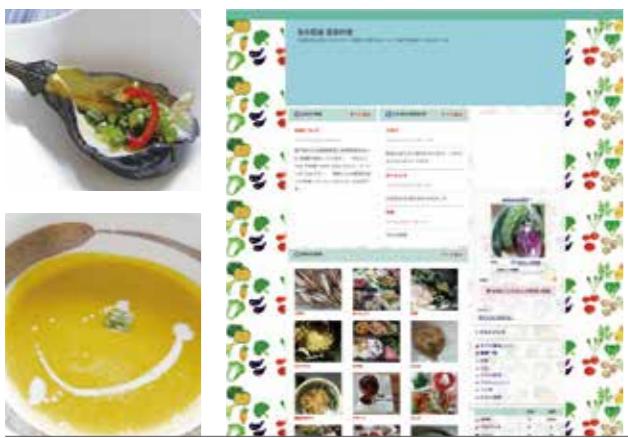
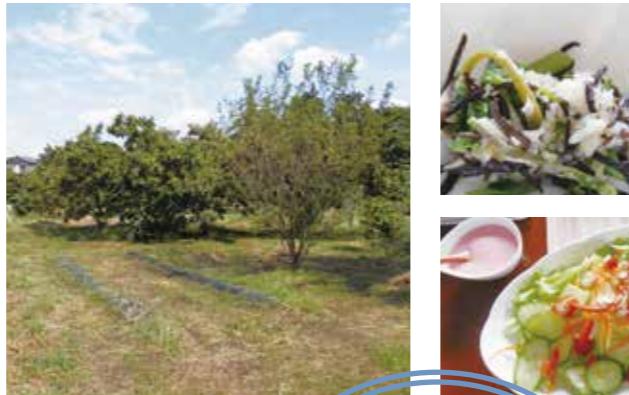
青木農園

## 新鮮な野菜が持つ パワーを伝えたい

### 相談内容

多摩市の青木農園は13代続く農家で、除草剤等を全く使用しない無農薬野菜を多品目少量（約70種）生産しています。庭先販売のほかに農家レストランを経営し、新鮮野菜をふんだんに使った農家料理が好評です。

相談内容はインターネットを使ってレストランの情報発信をしたい。売り上げ、経営管理を見直して収益をあげたいというものです。



### 支援内容

IT関係に詳しい専門家を派遣し、お店のブログの立ち上げを提案しました。  
農園でその日に収穫した野菜やレストランで提供した創作料理の紹介をしています。  
「農家こそ野菜のよさを知っている。新鮮な野菜が本来持っているパワーをもっともっと皆さんに伝えたい。」と青木さんはそう語っています。



白石農園

## 都市の中の伝統的な 農業を未来に伝える

### 相談内容

練馬区の白石農園は畑作を中心に営んできた江戸時代から続く伝統的な農家で、都市農業の重要性についても主張されています。

相談内容は、販売する農作物を特徴付けるためのロゴマークのデザインをしてほしいというものです。



### 支援内容

ロゴマークのコンセプトとして中長期的に白石農園の「保證書」となるものを求めていることから、哲学やアイデンティティを込めたデザインを提案しました。

練馬の地域で有名な江戸東京野菜である練馬大根と、それを育む豊かな土を表現したロゴマークが完成しました。

販売戦略・  
PR Support Case Examples  
2013

立川農産物直売所運営委員会

## 魅力あるお店づくりと 売り上げアップ



### 支援内容

直売所の外観について、道路から認識しやすいように立て看板やのぼりを設置して、旬の野菜の情報やポイント倍増セールで来店を促すような工夫を提案しました。店舗内については商品陳列棚にLEDの照明を付け、農産物の新鮮さが浮き立つようにすると共に、商品のよさをわかりやすくPOPに表示して購買意欲をかき立てる提案をしました。また、そのPOP作りのための講習会を開催しました。

### 相談内容

立川市のJA東京みどり幸町支店に併設の立川農産物直売所は平成6年に開設し、約20年間地域の方々に新鮮な農産物を販売してきました。

相談内容は、魅力あるお店づくりにより顧客の獲得や、客単価の底上げを図り、売り上げアップにつなげたいというものです。



販売戦略  
Support Case Examples  
2013

公設市場出荷組合レモン部会

## 「菊池レモン」 新たな特産品で島おこし



### 支援内容

専門家による推進体制作りの構築や東京都産業労働局観光部の「地域資源発掘型実証プログラム事業」応募への支援など、「島内外の交流・連携・協働によるプロジェクト」として本格的に島おこしがスタートしています。

ワークショップ、マルシェの開催、島の宝磨きツアーの開催等の活動を展開することができました。

### 相談内容

八丈島で最近生産が増えている「菊池レモン」には、樹上で完熟させると皮の苦味が消え、大きさが普通のレモンの3倍ほどになるという特徴があります。

果肉の酸味も穏やかなため皮ごとおいしく食べができるレモンです。

この「菊池レモン」を八丈島の新たな特産品としてPRする取り組みの相談をいただきました。



Support Case Examples  
HACHIGO  
公設市場出荷組合  
レモン部会  
東京都八丈町

## 「チャレンジ農業支援センターとは」

「チャレンジ農業支援センター」は、都民ニーズに即応した収益性の高い東京独自の農業経営を実現したいと考える農業者のみなさまの創意工夫とチャレンジをサポートします。

## 支援の内容

相談

農業者のみなさまが、現在の経営の改善や新たな経営へ挑戦する際に相談したい、アドバイスが欲しいことについて、センターのスタッフが直接訪問するかセンターで話をうかがい、解決のためのサポートを行います。また、各地域で農業経営に関する地域相談会を開催します。

## 専門家の 派 遣

センタースタッフと相談で明らかとなった課題を解決するために、申込みいただいたみなさまのところに専門家を派遣して、直接アドバイスを行います。

※専門家は5回まで派遣が可能で、費用は無料です。

※専門家の派遣に際してはセンタースタッフが原則同行します。

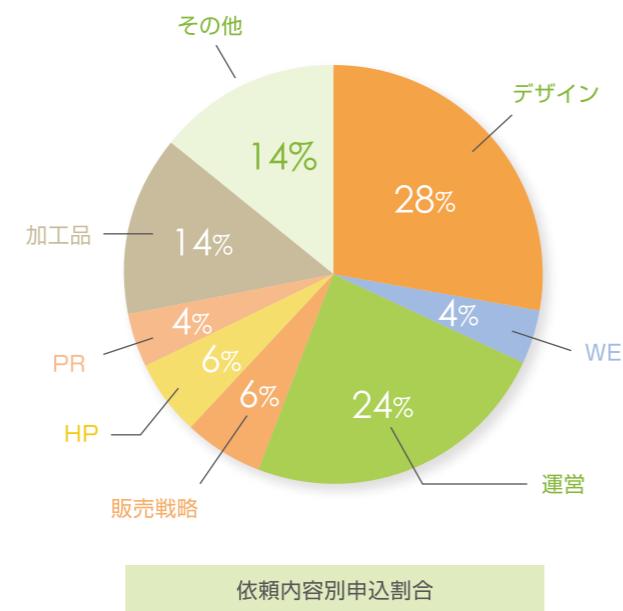
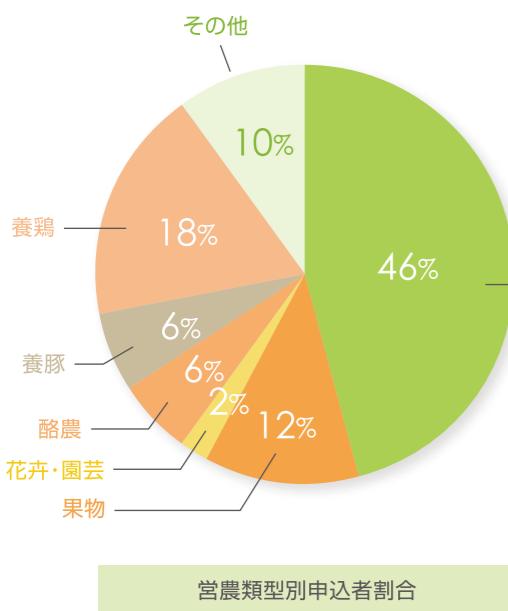
## 講演会の 開催

独自の創意工夫により新しい農業経営を実現している農業者の方などを講師に招いて講演会を開催します。

## 営農類型と依頼内容について

(平成25年度実績)

相談申込いただいた農家の分類と依頼内容の内訳です。



**対象者となる方は**

東京都内の  
全ての農業者  
(法人も含む)

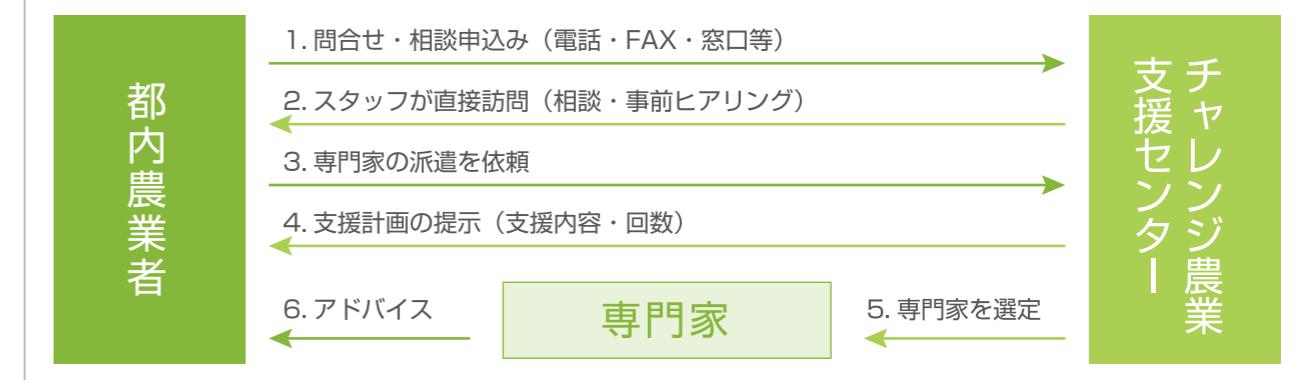
※これから就農を予定している後継者等も対象になります。

## 農業者が構成する グループや団体

こんな時にアドバイスが受けられます

- 収益性の向上に向けて、生産や販売など経営全体を見直したい
  - これまでの流通形態を見直して新しい販路を開拓したい
  - 育てた野菜を使った加工品を開発して、販売したい
  - 農畜産物をアピールするために、袋やシールのデザインをつくりたい
  - 仲間と共同事業のやり方を勉強するための研修会を開きたい
  - 農家レストランを開業して経営を多角化したい
  - 地域特産の農産物を「ブランド化」して生産と販売を拡大したい

## 支援の流れ



## 申込み方法

- センターに直接おいでいただくな、電話でお問合せください。  
※センタースタッフが訪問相談の日程や進め方などを調整します。  
なお、相談や事前ヒアリングの結果、専門家を派遣できない場合があります。